

研究課題名：虚血性僧房弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する他施設共同研究

所属(診療科)：心臓血管外科

研究責任者(職名)：安達晃一（医師）

研究期間：2015 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日

研究目的と意義：

重症虚血性僧房弁閉鎖不全症に対して僧帽弁置換術と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の臨床成績を後方視野的に比較検討し、僧帽弁形成術の有用性が証明できれば人工弁移植を回避でき、人工弁関連合併症も回避できる。また良好な予後が期待できる術式としての証明ができる。

研究内容：

- 対象となる患者さん： 他施設共同研究。参加施設である横須賀市立うわまち病院心臓血管外科で 2015 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の間に重症虚血性僧房弁閉鎖不全症に対して僧帽弁形成または僧帽弁置換術を受けた 16 歳以上の患者さん
- 利用する情報/資料： カルテ内容・手術記録
- 研究方法： 後ろ向き観察研究

問い合わせ先：以下

【研究担当者】

氏名： 安達晃一

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）